

【報道関係各位】

株式会社デアゴスティーニ・ジャパン



～C62の1/24サイズのスケールモデルが登場～
『週刊 蒸気機関車 C62 をつくる』
2007年8月28日(火) 創刊

公式サイト URL <http://www.de-club.net/jkc/>

株式会社デアゴスティーニ・ジャパン(本社:東京都中央区、社長:大谷秀之)は、毎号、付属のパーツを組み立てると、精巧な蒸気機関車「C62」の1/24サイズのスケールモデルが出来上がるクラフトマガジンシリーズ『週刊 蒸気機関車 C62 を作る』(全100号予定、創刊号特別価格990円/税込、2号以降通常価格1,890円/税込)を2007年8月28日(火)より全国書店にて発売開始します。

デアゴスティーニ限定の1/24スケールと真鍮製のボディ!

本シリーズは、付属のパーツを組み立てると、わが国の蒸気機関車の中でも絶大な人気を誇り、圧倒的なパワーと力感に満ちた独特のプロポーションを備えた旅客機関車「C62型2号機」のスケールモデルが完成します。

完成サイズは1/24スケール(全長95cm、高さ16.5cm、幅11.2cm)。細部に至るまで忠実に再現した真鍮主体の金属パーツで組立てる「C62」のモデルは、迫力と重厚感に満ちあふれたデアゴスティーニ限定の特別製です。



忠実かつ精工に再現された「C62型2号機」



基本設計は、著名なモータージャーナリストでモデラーのいのうえ・こーいち氏が手掛け、除煙板に輝く「つばめマーク」から煙室扉のハンドルの細部にいたるまで、忠実かつ精巧に再現しています。完成後は、ヘッドライトが点灯し、汽笛などのサウンドが鳴り響き、専用の台座の上では動輪も回転します。塗装することで、「C62型2号機」の迫力あるスケール感とリアリティさが一層際立ちます。

蒸気機関車の魅力をDVDとマガジンに凝縮したマニア垂涎の逸品

マガジンでは、かつて日本各地で見られた蒸気機関車の往年の雄姿と日本の情景を“いのうえ・こーいち氏”の写真と文章で紹介。また、様々な蒸気機関車の種類、組み立て方のマニュアルなどの情報を掲載します。創刊号には、特典としてDVDが付属。「C62」の貴重な現役走行時の雄姿溢れる実写映像や、マガジンの解説、パーツの組み立ての流れやポイントなどを紹介する映像を収録しています。

(DVDは創刊号のみ付属、2号以降には付属しません)



【商品概要】



タイトル	『週刊 蒸気機関車 C62 を作る』
価格	創刊号特別価格 990 円 (税込) 2号以降通常価格 1,890 円 (税込)
創刊日	2007年 8月 28日 (火)
刊行形態	毎週火曜日発売 (一部地域を除く)
刊行号数	全 100 号を予定
判型	A4 変型判 (16 ページ)
バインダー	創刊特別価格 690 円 (特価期間: 2007年 12月 末まで) / 通常価格 1290 円

『週刊 蒸気機関車 C62 を作る』公式サイト

<http://www.de-club.net/jkc/>



C62 型 2号機 スペック

模型サイズ

全長: 95cm (炭水車: 36cm)
高さ: 16.5cm
幅: 11.2cm

台座サイズ

全長: 108cm
高さ: 5cm (カバー時: 33cm)
幅: 21cm

毎号付属のパーツは、塗装されておりません。



上に重油タンク、給水口の見えるテンダーは、ステップや解放テコなども細かく、作り込まれています。



細部までこだわった運転室では、焚口から火室内がのぞき、赤色発光ダイオードが炎のように灯ります。



電球色の発光ダイオードで点灯する前照明は、背面の放射状のリブも再現。



テンダー台車のコ口軸受け部分には、ベアリングメーカー・日本精工「NSK」ロゴも再現します。

